

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	農業課合同事務所事業	会計	一般会計	事業No.	390	施策順No.	11-015
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-1-2-10-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	農業課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	行政(農業課・農業委員会)、生産団体						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		組織化した団体数	3	3	3	3	3	
	意図	連携して農業振興を図る						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	連携して取り組んだ事業	7	8	8	11	9	12	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	合同事務所の設置により、JAみなみ信州と連携して取り組んだ事業は年々、増加している。平成22年度も目標を上回る事業数の取組みを行った。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	農業課・農業委員会合同事務所経費		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	農業課・農業委員会合同事務所経費 1 配置職員数 農業課 15名 農業委員会 8名 2 経費の内容 農業課事務所賃借料、共益費、駐車場賃借料、電話・FAXリース料、光情報回線使用料、リングラフ使用料、電気料、ガス代、ガス点検料、電話通話料	事務所 駐車場	175㎡ 15台
23年度実施計画	農業課・農業委員会合同事務所経費 1 配置職員数 農業課 15名 農業委員会 8名 2 経費の内容 農業課事務所賃借料、共益費、駐車場賃借料、電話・FAXリース料、光情報回線使用料、リングラフ使用料、電気料、ガス代、ガス点検料、電話通話料	事務所 駐車場	175㎡ 15台

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		5,235	5,217	5,109	
		計(A)		5,235	5,217	5,109	
		正規職員所要時間					
		臨時職員等所要時間					
		人件費計(B)			0		
		トータルコスト A+B			5,217		

4 事業に対する市民や議会の意見

合同事務所の費用対効果はどうか。現場主義におけるメリット、デメリットは、効果はどう出ているのか。(H20年6月議会木下克志議員)
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	既存農業者の産出額(農業):億円
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	合同事務所を設置して、JAみなみ信州と連携して様々な事業を展開する中で、農業出荷額の向上につながる取り組みを行ってきた。		
	後期に向けた課題	後期においても引き続き、合同事務所体制で事業に取り組んでいく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	JAみなみ信州との連携を図る中で、課題や目的意識の共有のため、会議等の場だけでなく、日常的に意思疎通や情報交換が行えるよう取り組んできた。		
	後期に向けた課題	様々な部門で協働した取り組みが行えるよう、よりいっそうの体制づくりが必要である。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	電気使用料の削減など、ISOへの取り組み(CO2排出量の削減)と併せてコスト削減の努力をしているが、大幅な削減は難しい。		
	後期に向けた課題	経常的にかかる経費であって必要最低限を見込んでおり、大幅な削減は難しい。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	事業推進により農業産出額の上昇につながり、市が活性化することから市民全体が受益者である。		
	後期に向けた課題	特にない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してみましたか	4年間の振り返り	①JAみなみ信州営農部の一角に事務所スペースを置いている。 ②市は、JAみなみ信州とともに事業に取り組んでいる。		
	後期に向けた課題	特にない。		
全体を通じて	4年間の振り返り	合同事務所を設置して、JAみなみ信州と連携して様々な事業を展開してきた。農業振興センターには、それまで農協OB職員を配置していたが、合同事務所設置後は正規職員1名を配置する体制に変わった。また、担い手プロジェクト、市田柿プロジェクトなどのプロジェクトに協働して取り組んだほか、名古屋市に南信州ファームプロダクツマーケットを開設し、中京圏への販路拡大に取り組んだ。		
	後期に向けた課題	特定の部署だけでなく、様々な課題に対応するよう、いっそうの連携強化や課題、目的意識の共有が必要である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--